

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	IgA 腎症の腎病理所見と予後の関連に関する前向き多施設共同研究 Japan IgA nephropathy cohort study: J-IGACS)		
1. 研究の目的と方法	本前向き多施設共同研究（以下、「本研究」という）では、腎生検により IgA 腎症と診断された患者の各種臨床データおよび腎病理所見と、副腎皮質ステロイド薬、口蓋扁桃摘出術（扁桃摘）、治療に対する反応性・腎機能予後との関係を明らかにします。そのため本研究で集められたデータを用いて、IgA 腎症の特徴、治療、予後に関する研究を行っていく必要があります。本研究で収集したデータを用いて研究を行う際は、別途倫理審査委員会の承認を得た後で、インターネットを介して以下の URL に当該研究情報を掲載し公開します。 URL : https://jikei-kidneyht.jp/archives/topics_post/topics_post-5556		
2. 研究期間	研究機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日まで		
3. 対象となる方等	下記 5 (3) の対象施設において、腎生検によって IgA 腎症と診断された患者さんで、2005 年 4 月 1 日～2015 年 8 月 31 日の間に同意書にて本研究への参加を同意された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腎生検組織標本、検査結果、治療内容	
	(2) 試料の取得の方法	日常診療で得られる情報です	
	(3) 情報の種類	性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）、治療内容、腎生検の病理組織所見	
	(4) 情報の取得の方法	担当医がデータを経時的に収集し、半年ごとに追跡ファイルを更新します。（収集期間は終了しています）	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座（腎臓・高血圧内科）
		氏名	横尾 隆
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座（腎臓・高血圧内科）小池健太郎	
	(4) 共同で研究を実施する機関とその	東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科 横尾隆（機関の長：小島博己）	

	責任者	<p>東京慈恵会医科大学附属第三病院 腎臓・高血圧内科 平野景太 (機関の長：古田希)</p> <p>東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター 腎臓・高血圧内科 丹野有道 (機関の長：飯田誠)</p> <p>東京慈恵会医科大学附属柏病院 腎臓・高血圧内科 池田雅人 (機関の長：吉田博)</p> <p>順天堂大学医学部 腎臓内科 鈴木祐介 (機関の長：新井一)</p> <p>聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科 柴垣有吾 (機関の 長：北川博昭)</p> <p>金沢医療センター 第一内科 北川清樹 (機関の長：阪上学)</p> <p>和歌山県立医科大学 臨床研究センター・小児科 島 裕子 (機 関の長：宮下和久)</p> <p>東京女子医科大学 小児科 服部元史 (機関の長：丸義朗)</p> <p>長崎大学医学部 第二内科 西野友哉 (機関の長：河野茂)</p> <p>昭和大学 腎臓内科 柴田孝則 (機関の長：久光正)</p> <p>東海大学医学部 腎・内分泌・代謝内科学 和田健彦 (機関の長： 山田清志)</p> <p>国立病院機構福岡東医療センター 片渕律子 (機関の長：中根 博)</p> <p>国立病院機構大阪医療センター 岩谷博次 (機関の長：小田剛 紀)</p> <p>国立病院機構九州医療センター 中山 勝 (機関の長：岩崎浩 己)</p> <p>福岡赤十字病院 腎臓内科 徳本正憲 (機関の長：中房 祐司)</p> <p>福岡大学 腎臓・膠原病内科 升谷耕介 (機関の長：三浦 伸一 郎)</p> <p>金沢大学医学部 腎臓内科 和田隆志 (機関の長：蒲田敏文)</p> <p>田附興風会北野病院 腎臓内科 塚本達雄 (機関の長：秦 大 資)</p> <p>宮崎大学医学部附属病院 腎臓内科 藤元昭一 (機関の長：帖佐 悦男)</p> <p>島根大学医学部附属病院 腎臓内科 神田武志 (機関の長：椎名 浩昭)</p> <p>筑波大学大学院 人間総合科学研究科疾患制御医学専攻腎臓病態 医学分野 山縣邦弘 (機関の長：原 晃)</p> <p>群馬大学医学部附属病院 腎臓リウマチ内科学 廣村桂樹 (機 関の長：齋藤 繁)</p> <p>神戸大学医学部附属病院 腎臓内科 西慎一 (機関の長：眞 庭謙昌)</p> <p>京都大学医学部附属病院 腎臓内科 柳田素子 (機関の長： 高折晃史)</p> <p>九州大学大学院医学研究院 腎臓研究室 中野敏昭 (機関の長： 赤司浩一)</p>
--	-----	---

	<p>市立豊中病院 腎臓内科 竹治正展（機関の長：堂野 恵二）</p> <p>川口市立医療センター 腎臓内科 横手伸也（機関の長：國本 聡）</p> <p>自治医科大学 腎臓内科 長田太助（機関の長：川合 謙介）</p> <p>鳥取大学医学部附属病院 小児科 横山浩己（機関の長：原田 省）</p> <p>山形大学医学部附属病院 第一内科 今田恒夫（機関の長：土谷 順彦）</p> <p>JCHO 仙台病院 腎センター内科 眞田 寛（機関の長：村上 栄一）</p> <p>旭川医科大学 循環・呼吸・神経病態内科学 長谷部直幸（機関の長：東信良）</p> <p>藤田医科大学病院 腎内科 坪井直毅（機関の長：白木良一）</p> <p>東京都立小児総合医療センター 腎臓・リウマチ膠原病科 幡谷 浩史（機関の長：廣部誠一）</p> <p>名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科 丸山彰一（機関の長：小寺泰弘）</p> <p>日本医科大学付属病院 腎臓内科 三井亜希子（機関の長：汲田 伸一郎）</p> <p>帝京大学医学部 内科学講座 藤垣嘉秀（機関の長：澤村 成史）</p> <p>徳島大学 小児科 漆原真樹（機関の長：香美祥二）</p> <p>大阪公立大学医学部附属病院 腎臓内科 繪本正憲（機関の長：中村博亮）</p> <p>東京医科大学茨城医療センター 腎臓内科 平山浩一（機関の長：福井 次矢）</p> <p>新潟大学 腎・膠原病内科 成田一衛（機関の長：富田善彦）</p> <p>獨協医科大学埼玉医療センター 腎臓内科 竹田徹朗（機関の長：奥田泰久）</p> <p>足利赤十字病院 腎臓内科 平野景太（機関の長：室久俊光）</p>
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>本研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、本研究事務局（東京慈恵会医科大学内科学（腎臓・高血圧内科））を介して委託先の企業へ提供され管理します。</p> <p>委託先：EP 山梨株式会社</p> <p>提供方法：セキュリティのかかったクラウド上にアップロード</p> <p>本研究データを用いて新たに研究を実施する際は、委託先企業から個人を特定できない形式で研究データとして提供されます。</p>
利用または提供を開始する予定日	研究機関の長の実施許可日～2027 年 3 月 31 日までの予定です。

研究資金・利益相反	<p>この研究に関する経費は、難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）の資金で実施します。</p> <p>＜利益相反および個人の収益等＞</p> <p>この研究は、特定の企業・団体との関与はありません。研究の実施に当たり、研究の透明性および公平性の確保に努めます。なお、京都大学に所属する研究者の利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。</p>
【問い合わせ先】	<p>＜研究課題への相談窓口＞</p> <p>〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54</p> <p>京都大学医学部附属病院 腎臓内科 金子恵一</p> <p>電話：075-751-3111</p> <p>Email： kidney2011@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p> <p>＜京都大学の苦情等の相談窓口＞</p> <p>京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口</p> <p>電話：075-751-4748</p> <p>E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。